

明智市政の二期目がスタート



選挙後初登庁し、花束を受け取る明智市長(左)／7月25日

「災害復興の推進と人口減少に歯止めを——」

ごあいさつ

今回の市長選挙におきまして、大勢の市民の皆さんから負託をいただき、引き続き二期目の市政運営を担うこととなりました。月日のたつのは早いもので4年前、市長の職に就いて以来、私自身のまちづくりへの思い、目標を6項目掲げて市政運営を進めてきたところであります。地場産業の復興、財政の健全化、中央病院を核とした地域医療の充実、教育環境の整備、少子化対策、新市の一体感の醸成。具体的に優先順位を付けながら、スピード感を持って取り組んできました。

その中で、市民の皆さんに評価をいただけるものがいくつかあります。財政健全化として実質公債費比率の好転や基金残高の大幅な貯え、中央病院の公設公営の堅持、滝郷診療所での常勤医師の確保、小中学校がそれぞれ特色ある教育活動を行う学校いきいきプラン事業、2歳までの子を持つ親への紙おむつ購入助成、中学校3年生までの医療費助成など。また市民体育祭の開催や道の駅施設整備事業などは、一体感を持てる交流の郷づくり^{さと}に貢献できると確信しているところであります。

一昨年の東日本大震災では、旭市も未曾有の大災害を被りました。しかし、全国か

ら応援をさせていただいた方々の「負けるな旭」復興へ心を一つに」の気持ちで復旧を後押ししてくれたこともあり、被災地の中でも最も早い復旧であったと評価をいただいております。

天皇・皇后両陛下が、全国の被災地の中で旭市に最も早く激励、お見舞いに来てくださったことも、旭市民にとってどれだけ勇気、元気をいただいたことか、感動、感謝の気持ちでいっぱいでありました。

復興2年目を迎え「目に見える形で進めていかねば」と、復興計画を進捗させているところであります。被災者の皆さん、市民の皆さんから「頑張つてよかった」「完全に震災から復興した」と言われるような、安全・安心で災害に強いまちづくりを目指します。また人口減少対策や定住促進など旭市の抱える課題も一つ一つ市民目線に立って進めていきたいと、二期目のスタートに当たり決意をしているところであります。

今後とも、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。二期目の市政運営に当たってのごあいさつといたします。

プロフィール

あけち ただなお
明智忠直

昭和18年3月9日生。西足洗在住。市農業委員、市消防団長、千葉県消防協会副会長、市議会議長などを歴任。平成21年7月市長に就任。